

七福神 と 動物 の ひみつ

日本では一般的な七福神。彼らに仕える動物たち（^{つか}神使＝神に仕える者）がいることをご存知ですか？ No.7 《^{ふくじんあそ}福神遊び宝の^{まきがりず}牧狩図》より七福神と動物の関係についてご紹介します。

福禄寿と鶴

福禄寿は中国において、人生で得たい「福（幸福）・禄（財宝）・寿（長寿）」を具現化した存在とされていることから長寿の象徴である鶴を神使にしています。

寿老人と鹿

福禄寿同様、寿老人も長寿をご利益としており、鹿は中国において長寿を意味するので、寿老人の神使は鹿とされています。

布袋尊 / 兎

布袋尊は実在した人物であることから、七福神の中で唯一神使を持たない神様です。そのためか、神使ではない兎が布袋尊の近くに描かれているのではないかと考えられます。



恵比須神と鯛

恵比須神と同一視される大国主命（オホクニヌシノミコト）の息子・事代主命（コトシロヌシノミコト）が日本で最初に釣りを行なったという神話から、恵比須神の神使は鯛とされています。

大黒天と鼠

日本における大黒天は、「大黒」と「大国」が同音であることから大国主命（オホクニヌシノミコト）と同一信仰されているのですが、大国主命が鼠に救われるという神話から鼠が神使とされています。

毘沙門天 / 弁才天

毘沙門天：ムカデ（または虎）
弁才天：蛇

彼らの神使が描かれていないのは、「牧狩」という題材の中で、哺乳類でない動物はふさわしくないためかと推察されます。

※ 同色で囲われているものが対になる関係です。

※ 七福神と神使の関係については諸説あります。